

中谷ミチコ展—境界線のありか—

3月4日から 横浜美術館 アートギャラリー1で個展開催

横浜美術館では、新進作家支援プログラムの一環として、中谷ミチコの個展を3月4日から開催します。中谷ミチコは、石膏や透明樹脂を用い、「在る事とない事のあいだ」そして「自分のからだの内と外の境界」をテーマに、作品を制作しています。2005年に多摩美術大学を卒業後、ドイツで制作・発表を重ね、2010年にはVOCA展で奨励賞を受賞するなど国内でも高い評価を得ている作家です。

本展は、5年間のドイツ滞在を終えて昨秋帰国した中谷の、日本での本格的な創作活動の第一歩となるものです。昨秋より横浜の黄金町エリアマネジメントセンターのスタジオに入居し、3ヶ月がかりで新作に取り組んできました。

横浜での滞在制作の成果にご期待いただき、ぜひ広くご報道いただければ幸いです。



[中谷ミチコ展—境界線のありか—] 開催概要

会 期： 2011年3月4日(金曜)–3月21日(月曜・祝日)

※木曜休館 ※入場無料

時 間： 10時00分から18時00分(金曜は20時まで開館)

会 場： 横浜美術館アートギャラリー1

展覧会 HP: <http://yaf.or.jp/yama/>

主 催： 横浜美術館

共 催： 横浜市 APEC・創造都市事業本部

協 賛： 吉野石膏販売株式会社、株式会社アラタ・アートセンター

協 力： 財団法人イセ文化基金、NPO 法人黄金町エリアマネジメン
センター、竹内化成株式会社、日新レジン株式会社、
東京ロストサービスセールス株式会社、アサヒビール株式
会社、アサヒ飲料株式会社

←「牛頭と少女」2011年石膏・樹脂・顔料 137×81×9cm 撮影：日高愛

イベント開催のご案内:

◆ アーティストトーク 3月20日(日曜) 17:00–17:50 横浜美術館 アートギャラリー1

作家が展示室にて自身の制作と作品について語ります。

◆ レセプション 3月20日(日曜) 18:15–19:15 横浜美術館 café 小倉山

作家を交えたレセプションを行います。

問い合わせ先

横浜美術館 【横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント 共同事業体】

経営管理グループ 広報営業チーム グループ長 小椋 錬太郎 Tel 045 - 221 - 0318

経営管理グループ 広報営業チーム 広報担当 慶野、佐藤、岩上 Tel 045 - 221 - 0319

* 本日は19時まで在席しております。